

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

今年もみんな がんばりました!

【おしらせ】

今週 1 月 1 回の注文用紙は、

- ・年内に回収します (12/22 月 ~ 26 金)
- ・お届けは 1/5 月 ~ 1/9 金です

常総生協ニュース 2014



つくばエクスプレス
守谷駅

現在の本部の様子です (12 月初旬)。基礎工事がほぼ完了し、1 月めに鉄骨の組み上げ工事に入ります。5 月完成を目指しています。

飛躍準備の2014 年。協同の力に感謝。 2015 年もぜひ、一緒にチャレンジしていきましょう!

【年末年始の予定】 ※ 12/11 現在の予定です。

●地域での活動・催し●	●基幹運営・対外関係●
<p>○ 12/25 (木) 綿畑収穫 10-12 時 龍ヶ崎共同農場</p> 	<p>○ 12/17-21 ガザ報告とパネル展 ・ 12/20 志葉玲さん報告会 ・ 12/17-21 パネル展 (つくば市民ギャラリー)</p> <p>○ 12/18 (木) 13:30 ~ 東海第2原発差止訴訟 第 8 回口頭弁論 水戸地裁</p> <p>○ 12/22 (月) 「第 8 回定例理事会」 守谷中央公民館 10-13 時</p>

【予告】 新年より!
「味噌づくり講習会」開催!



新年 1 月より皆さんのお住まいの近隣地域で恒例「味噌作り講習会」を開催します! (日程詳細は後日)

【その1】常総生協 40周年目前！ 新センター・本部着工

●本部・配送センターの建て替え決定・着工



商品セットの業務委託解消に伴う倉庫家主との家賃協議がまとまらないことから、2014年3/28の第10回理事会にて「自前の配送センターを現本部敷地に建設する方向」を提案。

また、これを機に老朽化した本部も新たに改築・併設して組合員、生産者の活動拠点を作ることになりました。10月着工。

完成は2015年5月を予定しています。
(上イラストは完成予想)

【その2】40周年記念事業 方針案発表！

●2015年は常総生協設立40周年。 常総生協をもっと地域に広めましょう！

40周年を迎えるに当たり、以下の様な記念事業を計画しました。組合員みなさんの参加で、広く常総生協を地域に伝え、仲間を増やしていきたいと思えます。

【40周年記念事業（計画）】

●教育文化事業
食べものや料理、農業、漁業、健康、子育てなど私たちの暮らしを取りまく社会問題に関連する内容で、各界の先駆者をお招きしてみんなで学びたいと思えます。

その他に、

- 記念レセプション（2015年9月）
- 功労者表彰
- 地域座談会の開催
- 40周年記念誌（あゆみ）編纂など。
提案、ご意見、お待ちしております。

【その3】脱原発と 健康見守り活動が推進！

●脱原発と暮らし見直し委員会の活動

・埼玉こだま医院・児玉順一先生講演会開催（1/16）



常総生協の活動を仲間から聞き、ぜひ一緒にお話ししたいとお声かけ頂き今回の交流会が実現。「低線量被曝に注意する事は、積極的に健康に向かっていく生活の基本です」とお話されました。

・冊子「A Letter From Japan」の紹介と
製本の呼びかけ（2月～）



上記ご紹介しました児玉先生が、低線量被曝がもたらす健康影響や、世界に散らばる核施設と免疫疾患の相関を分かりやすく解説した1冊。2月に組合員に紹介。冊子製本は多くの組合員にご協力頂きました。

・「福島 六ヶ所 未来への伝言」
上映会と島田憲監督講演会（2/2）



「原発は、ふるさとを破壊し、地域を破壊し、人間関係を破壊し、心を破壊する。目先の利益、経済優先、他人依存を追い求めた象徴が原発。地域にあるものを利用してその中で循環していく暮らしの見直しが重要です」（島田監督）。

●東海第二原発運転差し止め訴訟（第5回～7回）
※第8回口頭弁論は12/18（水戸地裁）



提訴から1年。2014年は4回の口頭弁論を実施しました。より多くの地域内外の方に関心を寄せて頂くことが重要です（左写真は2013/7/31の提訴当日の様子）。

●子どもの健康調査は発足2年目に入り、
2500人を検診



2013年10/12から開始した甲状腺検診。「国がやらないのなら私たちの手で」と始まり、この間組合員始め、多くの心ある医療関係者、市民が集い、2500人を検診。

●子どもサマーキャンプIN能勢農場
（今年で3年目）（8/5-8/8）



原発事故後、子どもたちが放射能の心配をしないでのびのび外遊びできるようにと始まった保養キャンプ。各地の生産者の協力を得て3年目の実施に。

**【その4】暮らしの見直し運動が
一歩前進！**

●つくばリサイクルマーケット参加 (3/9)



暮らし見直しは「3R」からと、はじめて地域のリサイクルマーケットに担当理事と組合員有志で出展。新しい繋がりもできました。

●せっけんアンケート、せっけん座談会開催



「合成洗剤よりもせっけんの方が環境にも肌にもやさしいのは分かる。でも…」の「でも」をみんなですらしたら解決できるか集めました。

●家計簿座談会開催



家計の客観視に重要な家計簿。でも、なかなか続かない…。そこで、続けているベテランさんをお招きしてコツをみんなで学びました。

●～新たな米作りに向けて～

組合員による米の自給チャレンジ (飯田農園)



「自分が食べるお米くらいは自分たちで作ろう」と始まった自給チャレンジ。「やさとの仲間」の有機生産者飯田さんの棚田で教わりながら開始。

●～「衣」の暮らし見直し～

わた作り&綿くい交流会



余りにも安く、「他人任せ」になった私たちの衣類。布を作るのにどれだけ手間がかかるかを知るため、まずは綿作りから開始。いよいよもの作りへ。

**【その5】
組合員と一緒になかまづくり活動が常総生協の風土に！**

●組合員・職員合同ポスティング (6/7つくば / 守谷、10/4 流山)



仲間を増やす行動は職員だけでやるのではなく、組合員と一緒に！心をひとつに頑張りました。組合員と一緒に行動を「風土」にしたいと思います。

●新ちらし「おいしさ実感キャンペーン」配布！



「まずは食べて実感し、納得頂いてから加入してもらおう！」と始まったキャンペーン。反応は上々です。ぜひ引き続きご紹介ください！

●ふれあい子育てサロン再開 (7/17)



震災原発事故以降、残念ながら休止となっていましたが、夏から再開。組合員の歯科医師さん、助産師さんの協力を得て日頃の悩みも解決できました。

●「クッキングキャラバン」でお友達と一緒に料理しながら、学びながら！



「その季節の旬の食材を使い切る」ことをテーマに実施。各会場「簡単で美味しい！常総生協の商品の良さもわかった」と好評でした。春も実施します。

【その6】新商品の登場と企画再開！

●鈴木牧場ヨーグルト工房 10周年 & スカモルツァチーズ登場！



ヨーグルト工房は2014年で10周年！またこの間、鈴木牧場には延べ1000人以上の組合員が訪れ、鈴木さんから多くを学びました。10周年を記念して新しいチーズ「スカモルツァ」も発売！

●高橋徳治商店新工場1周年 (7月)

●飯泉さんの原木しいたけ再開 (9月)

●主食の米の放射能検査 (3年次)

●新しいパン屋さん「レ・ルルド」さんが仲間入り。

(無念…終了メーカー) ●三光水産 ●駿河水産加工業協同組合

**【その7】
組合員の声を集めて！
商品改善・商品検討会スタート！**
●ニッコー商品検討会 (10/3)



ニッコーさんの冷凍食品と市販との違い、まずは「餃子」で比較しましたところ、その差は歴然。今後も続け、商品開発や改善につなげます。

●趙さんの味商品検討会 (11/14)



はるばる宮城から始発でお越し頂いた趙香星(イ・ヒャンソン)さん。キムチのお料理をたくさん教えて頂きました。市販のキムチとの比較も実施。

**【その8】(東京電力への損害賠償請求)
組合員財産保全申し立て**

2014年2月にADR(紛争解決センター)に申立。結果としては請求の68%しか支払われませんでした。

※詳しくは次の4ページをご覧ください。

・・・以上、常総生協ニュース2014でした！・・・

8. 組合員財産の保全 ADR 東電損害賠償～請求の2/3を回収

東電への直接損害賠償請求で2度にわたって拒否（ゼロ回答）されたことから、今年2月、組合員の弁護士さんを中心に弁護団を結成し「原子力損害賠償紛争解決センター」（ADR）に申立。ADRにおいても東電は全面否認または留保を主張しましたが、食べものの放射能測定的重要性などを粘り強く訴え、ADRは生協側の主張を半ば認め、11月21日「和解」しました（一部和解せず）。

これにより、多額の組合員財産を投入した放射能検査機器（NaI、Ge 合計約2,700万円）のうち、2,450万円、組合の2年間の逸失利益も請求の65%が認められ、総額では請求の2/3の組合員財産を回収・保全することができました。弁護士のみなさんもお苦労さまでした。

しかし、食品検査のための職員人件費（放射能検査室職員給与2年分約700万円）、たくさんの方の組合員や地域の皆さんが参加して自ら測定調査した空間線量調査（放射能調査隊・てくてく歩く隊）の線量計（165万円）や地域メッシュ土壌調査費用、そして血液検査・甲状腺検査等の健康調査費用は却下されました。

原発事故さえなければこんな費用はかからなかった以上、ADRでも否認された放射能検査室の人件費は裁判に訴えること、線量計代金は組合員・生産者が申立主体となってADRに申立の方針とし、次の訴えを準備することとなりました。

【損害賠償請求項目】			常総生協請求	東電主張	ADR 和解案	【和解】	請求比
大分類	小分類	内訳	2014/2/10	2014/4/1	2014/9/22	2014/11/21	
追加的費用	1. 検査費用（物）	外部機関依頼分	4,737,600	認否留保	4,453,344	4,453,344	96.0%
		検査機器・備品	26,953,516	認否留保	24,530,000	24,530,000	91.0%
		検査人件費	6,968,747	全額否認	216,876	(和解せず) 0	
	2. 検査費用（人）	子ども健康調査費用	2,038,935	全額否認	0	(和解せず) 0	
逸失利益	3. 営業損害		43,796,956	全額否認	28,710,000	28,710,000	65.6%
	【小計】		84,495,754	0	57,910,220	57,693,344	68.6%
弁護士費用	4. 弁護士費用		4,224,787	認否留保		1,743,000	41.3%
	【合計】		88,720,541			59,424,344	66.9%

12/6 綿くり交流会（常総生協セットセンター）

綿作りから、いよいよ「綿のものの作り」へ！



おうちや畑で収穫した綿（和綿）を持ち寄って、仮移転中の生協本部（セットセンター倉庫内）にてみんなで綿くりをしました。

綿くりとは、綿毛と綿実（綿の種）を分ける作業なのですが、やり始めると面白くて止まらない！お子さんも夢中でくるくる回しました。

和綿で織った製品も展示し、次の製品作りへのイメージも湧かせました。

◎座布団として日々の生活に加わる日も近い？！

参加出来て幸せな時を持ってました。フワーとした綿を手になごやかな表情。なかなか離れがたい種を道具はすごいと実感！そして動力を用いた時、ピッチがあがりルンルンの気分で、おしゃべりの花があちこちに。ふた回りもの年齢など関係なく和気藹々の時を過ごしました。座布団として日々の生活に加わるのも近いようです。（常総市 山口）

◎すべてが楽しかった綿くり！

本日は、貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。いつもながら村井理事長のお姿、お話しに勇気と元気をいただきました。素晴らしい機械を作る先生、布の芸術家の先生、生きる事を考え学ばせていただく常総生協。組合員の方々とのお話、お人柄に触れる度に励まされます。息子も「すべてが楽しかった。」との感想。感謝、感謝の綿くりでした。本当にありがとうございました。（龍ヶ崎市 石井）

【石井りん】むずかしかったけれど、たのしかったです。またやりたいです。
【石井旬】今日はとても楽しかったです。またやりたいです。こんどはもっと「わた」をとれるようにしたいです。